

# 「落花生」生育情報（第2報）

～ 基本技術を励行して収量増加！ ～

平成29年8月21日

千葉県農林水産部

生産振興課

※本資料は、落花生生産者へ落花生の生育を情報提供するものです。  
調査時点での生育状況をまとめたものであり、本年の収量を保証するものではありません。

## 1 生育状況

7月から8月上旬にかけて、気温は平年並から平年と比較して高くなりました。また、降水量は、7月は平年と比較して少なくなりましたが、8月上旬は平年並みから平年と比較して多くなっています。

調査までは、8月9日までの生育は順調に推移しています。

表1 作況調査成績（8月9日調査）※対比は平年比

品種名	年次	地上部 生体重 (g/m <sup>2</sup> )	地上部 乾物重 (g/m <sup>2</sup> )	さや数 (個/m <sup>2</sup> )	生さや重 (g/m <sup>2</sup> )	さや 乾物重 (g/m <sup>2</sup> )	最長 分枝長 (cm)	
千葉半立	本年	2,310	435	119	366	49	42	
	〔調査区の平均〕 〔は種日5月29日〕	平年	2,714	492	114	351	47	42
	対比	85%	88%	105%	104%	105%	101%	
ナカテユタカ	本年	2,299	523	197	699	118	40	
	〔調査区の平均〕 〔は種日5月30日〕	平年	2,429	467	195	760	124	41
	対比	95%	112%	101%	92%	95%	97%	
おおまさり	本年	1,658	353	78	335	49	51	
	〔調査区の平均〕 〔は種日5月25日〕	平年	2,242	402	69	265	40	55
	対比	74%	88%	114%	127%	122%	94%	

\* 本年値は、各品種3か所の調査結果の平均値。「千葉半立」は印旛・香取・山武地区、「ナカテユタカ」は海匝・長生・君津地区、「おおまさり」は千葉・印旛・君津地区。

\* 平年値は、平成22年から28年（過去7年間）の調査データから最大・最小を除く平均。

\* 対比はラウンド処理をしているため、小数点以下が合わない場合がある。

表2 （参考）落花生研究室（八街市）の作況（本年の値、8月9日調査）

は種日	品種名	地上部 生体重 (g/m <sup>2</sup> )	地上部 乾物重 (g/m <sup>2</sup> )	さや数 (個/m <sup>2</sup> )	生さや重 (g/m <sup>2</sup> )	さや 乾物重 (g/m <sup>2</sup> )	最長 分枝長 (cm)
5月19日 (標播)	千葉半立	2,518	464 (昨年489)	201	585	101 (昨年84)	37
	ナカテユタカ	2,155	425 (昨年416)	268	852	178 (昨年147)	35
	おおまさり	1,568	390 (昨年410)	177	730	105 (昨年100)	43
6月9日 (晩播)	千葉半立	2,205	366 (昨年352)	72	169	18 (昨年11)	37
	ナカテユタカ	2,069	362 (昨年327)	128	372	42 (昨年50)	36
	おおまさり	1,604	302 (昨年279)	36	110	12 (昨年13)	54

\* 落花生研究室の3品種の栽植密度は、「千葉半立」、「ナカテユタカ」は5,128株/10a、「おおまさり」は2,564株/10a

## 2 これからの管理のポイント

### (1) 病虫害防除について

今後、特に白絹病、茎腐病の注意が必要です。ほ場をよく観察し、早期発見・早期防除に努めましょう。

白絹病が発生している場合は、被害株を表土と一緒に圃場から持ち出し、病気の拡大を防ぐとともに、次年度の病害予防のためにはほ場の菌密度を減らしましょう。

薬剤の使用に当たっては、収穫前使用日数に注意しましょう。(フロンサイド粉剤は収穫45日前の使用。例えば、10月10日に収穫する場合は、8月26日までに使用。)

薬剤散布は、農薬のラベルに記載された使用基準に従って行ってください。

表3 防除薬剤

病害名	適用薬剤名	希釈倍数等	使用時期／回数
褐斑病	トップジンM水和剤	1,500～2,000倍	収穫7日前まで／4回
	ダコニール1000	500倍	収穫14日前まで／4回
白絹病	フロンサイド粉剤	10a当たり20kg	収穫45日前まで／1回
茎腐病	トップジンM水和剤	1,500倍	収穫7日前まで／4回

### (2) 「試し掘り」で適期収穫

落花生の掘取時期の目安は、下表のとおりです。

収穫時期が近づいたら、必ず試し掘りをして、収穫適期を逃さないように気をつけましょう。砂地の地域では収穫期が早まるので、早めに試し掘りをしましょう。

「ナカテユタカ」は掘り遅れると食味が低下するので、特に注意が必要です。

表4 開花期からの掘取時期の目安

	千葉半立	ナカテユタカ	おおまさり
開花期からの掘取時期の目安	95日後	80日後	85日後(ゆで莢用)

表5 落花生研究室(八街市・マルチ栽培)での収穫期目安

品 種	千葉半立		ナカテユタカ		おおまさり	
は種日	5月19日	6月9日	5月19日	6月9日	5月19日	6月9日
開花期	6月28日	7月14日	6月25日	7月12日	6月25日	7月12日
収穫期目安	10月1日	10月17日	9月13日	9月30日	9月18日	10月5日

### ナカテユタカの収穫適期判断法

「ナカテユタカ」は、さやの裏の色で収穫適期が判断できます。

<方 法>

- ①ほ場の中で生育が中庸な4株を掘り、それぞれの株もとのさやを5つとり、さやの裏の色を見ます。
- ②合計20個のさやのうち、その半数以上の色が淡褐色(写真+)以上になり、黒褐色(写真+++ )のさやがひとつでも見られたときが掘取りの適期です。
- ③開花期から予想される適期の7日前から、2、3日おきに試し掘りをして判定します。

